

平成13年9月作成

生物種の分類及び生物多様性情報に関する国際的プログラムと我が国の関わり

国際的枠組 (主要関連機関のみ)	<p>(行政的取り組み)</p> <p>UN (国際連合)</p> <p>UNEP (国連環境計画)</p> <p>CBD (生物多様性条約)</p>			<p>(研究的取り組み)</p> <p>ICSU (国際学術連合: 研究NGO)</p> <p>SCOPE (環境問題科学委員会)</p> <p>DIVERSITAS (国際生物多様性科学研究計画)</p> <p>UBS (国際生物科学連合)</p>		
	<p>(承認)</p> <p>(支持)</p>			<p>(OECD)</p> <p>(独立)</p> <p>(支持)</p>		
プログラム	CHM クリアリング・ハウス・メカニズム	GTI 世界分類学イニシアティブ	MEA ミレニアム・エコシステム・アセスメント	GBIF 世界生物多様性情報機構	Species2000	I BOY 国際生物多様性観測年
主要活動	生物多様性関連情報の案内板	分類学者の育成など分類学の振興	リモセンを活用した生態系のモニタリング調査	種の電子カタログ、種のデータベース、アクセスツールの作成等を通じて生物種の情報を供給	種の情報検索のための電子カタログを作成	生物種のモニタリング調査
国内主要関係者	環境省自然環境計画課にフォーカシング	環境省、国立環境研究所	川口大臣が個人的立場で理事会メンバーに登録	・外務省、科技庁、環境省等による関係省庁連絡会議を発足 (2001.2) ・連絡会議のもとに技術専門委員会設置 (2001.3)	・国立環境研究所研究者が参加 ・プロジェクトチームに国立環境研究所の渡辺部長と志村研究員	・SCOPEに大島理事長が関与 (副委員長) ・DIWPA (DIVERSITASの西大・西洋アジア地域部門) の議長に川那部氏
備考	・生物多様性センターにコンピュータ等設置	・GTIコーディネーションメカニズムの委員に国立環境研究所の渡辺部長	・2001年6月正式発足 ・2005年1月を目途に最終報告書を取りまとめる予定	・GBIF正式発足(2001.3) ・事務局ホスト国がデンマークに決定。理事会の下に科学委員会等を設置し活動を開始。 ・GBIF理事会副議長に岩槻氏	・アジア地域プロジェクトとしてSpecies2000A0も動いている。	・DIWPAの事務局: 京大生態研究センター